

# かしん地域密着型金融推進計画

(平成19年度～平成20年度)

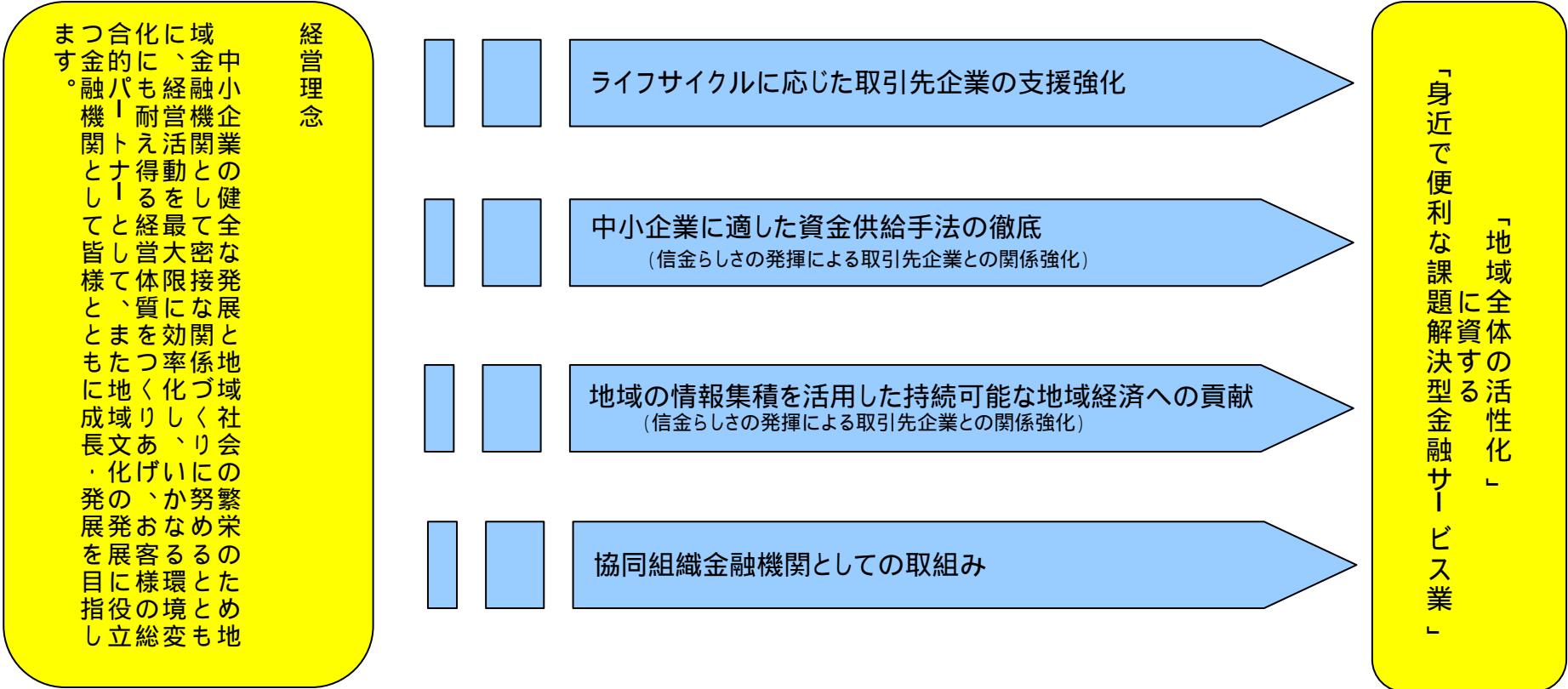
鹿児島信用金庫

# 「かしん地域密着型金融推進計画」の基本的な考え方

『地域密着型金融推進計画』につきましては、集中改善期間として平成15年4月から平成17年3月まで「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」を、重点強化期間として平成17年4月から平成19年3月まで「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域利用者の利便性向上等を柱に取り組みでまいりました。

「アクションプログラム」は終了いたしました。これまでの地域密着型金融への取組みを踏まえ、今年度以降は地域密着型金融の原点に戻り、恒久的取組みとして推進してまいります。

本計画は、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」、「中小企業に適した資金供給手法の徹底」、「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」、「協同組織金融機関としての取組み」という4つの項目を主要な柱として計画いたしました。



## 1. 計画期間

平成19年4月から平成21年3月まで(2年間)

## 2. 経営理念

中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体制をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指します。

## 3. 目指す姿

当金庫は中期計画「パワーアップ2006」において、地域密着型金融の推進を基本目標として掲げ、地元深く密着することで健全性や収益性のバランスのとれた「信金らしい信金」を目指しております。

今回の「地域密着型金融推進計画」では、新たな成長ステージへと飛躍を図り、中小企業の事業価値及び個人の生涯価値を高めることにより「地域全体の活性化」に資する「身近で便利な課題解決型金融サービス」を目指しています。

## 4. 基本目標

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援  
経営改善支援  
事業再生  
事業承継

中小企業に適した資金供給手法の徹底

担保・保証に過度に依存しない融資の推進  
中小企業の資金調達手法の多様化

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

取引先企業間におけるビジネスマッチング  
地域活性化につながる多様なサービスの提供  
地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

協同組織金融機関としての取組み

目利き能力の向上、人材の育成  
情報開示の充実に向けた取組み  
総代会の機能向上に向けた取組み  
法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化  
信用リスク管理態勢および統合的リスク管理態勢の充実  
市場リスク管理態勢の充実

「かしん地域密着型金融推進計画」の具体的取組み事項

項 目	取組方針及び目標	具体的な取組み
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援	・地域における創業・新事業支援のための業務に係わる外部機関との連携強化	・「かごしま産業支援センター」、「鹿児島県中小企業団体中央会」、「商工会連合会」、「九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会」、「かごしま企業家交流協会」、「信金キャピタル」等の支援や協力を得ながら適切な対応を図ってまいります。
(2) 経営改善支援	・取引先企業に対する経営相談・支援機能等の強化を図る。	・かしんハッピー会での経済講演会開催や情報交換会などの経営相談・支援機能を強化します。 ・「かしん経営大学」による創業・新事業のための経営戦略を学ぶ機会を継続的に提供します。 ・「かしん経営大学」卒業生企業および今後受講する企業に対して、経営改善をも含めた経営の相談・販路拡大等を目的とした取引先への情報提供を実施します。 ・非財務面まで含めた企業分析に基づき顧客と課題を共有し、それに対する的確な情報提供やアドバイスを行う業務運営体制の構築に向けて取り組みます。
(3) 事業再生	・事業再生を通して当該取引先の事業継続を支援する。また、事業再生に関するノウハウの習得・人材育成を目指す。	・業界団体が実施予定の研修会への積極的参加により経営指導及び「目利き力」のある人材育成に取り組みます。 ・中小企業再生支援協議会を積極的に活用します。 ・弁護士、税理士、民間のコンサルタント等との連携強化を図ります。 ・各管理先の問題点の発掘及び指導方針の確立、指導体制の確立を図るために中間管理マニュアルを活用します。
(4) 事業承継	・事業承継を通して当該取引先の事業継続を支援する。また、事業承継に関するノウハウの習得・人材育成を目的とする。	・弁護士、税理士との連携強化を図ります。 ・鹿児島県内商工会議所との連携強化に取り組み、信金業界ネットワークを利用した事業継承支援に取り組みます。 ・相続対策に向けたコンサルティング能力の向上のための外部研修受講に取り組みます。

「かしん地域密着型金融推進計画」の具体的な取組み事項

項目	取組方針及び目標	具体的な取組み
2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1)担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	担保・保証に過度に依存しない融資推進を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業向け無担保・第三者保証人不要の「TKCかしん戦略ローン」を推進いたします。</li> <li>・鹿児島県内商工会議所との提携ビジネスローンを推進いたします。</li> <li>・無担保・第三者無保証の融資を充実するため鹿児島県信用保証協会のステップ保証を活用するとともに積極的に推進いたします。</li> <li>・法人会、税理士会との連携による無担保・第三者保証人不要の商品を開発することに取り組みます。</li> </ul>
(2)中小企業の資金調達手法の多様化	外部機関から債権の流動化等の情報提供や事務処理におけるノウハウの習得などの支援を受け、中小企業の資金調達法の多様化に対応していく態勢を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小零細企業を中心とした比較的low格付取引先向けへの事業融資商品を開発することに取り組みます。</li> <li>・信金中央金庫に対して債権の流動化等の情報提供依頼や当金庫で行う研修会・勉強会に講師派遣要請に取り組みます。</li> <li>・動産担保ローンである「しんきんMEサポートローン」を積極的に推進します。</li> </ul>
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1)取引先企業間におけるビジネスマッチングの強化	取引先企業間におけるビジネスマッチングを実施し取引先企業の事業支援を行う	「かしん経営大学」卒業生企業を対象に、「かしん経営大学ビジネスマッチングプラザ」を構築および参加募集を行い、ビジネスパートナー発掘、販路拡大等に繋がる会員企業同士のビジネスマッチングを推進します。
(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供	多重債務者問題への対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界団体等の情報を元に、多重債務者が来店した場合の対処方法について対応マニュアル等を作成します。</li> <li>・消費者金融連絡会等と連携し、研修会の実施や冊子の配布等により、多重債務者の予防を図るよう取り組みます。</li> </ul>
(3)地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性を更に充実させるために、利用者アンケート調査を実施し、利用者の声を把握し、業務改善に繋げていく。</li> <li>・利用者の声から顧客ニーズを汲み取り今後の金融サービスの質の向上に生かしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お客様の声カード」による「かしんCS運動」の見直しを行い、経営陣へ報告し指示を受ける体制確立に取り組みます。</li> <li>・アンケート調査を行い集計・分析を行ったうえで経営陣に報告を行い、顧客の満足度を重視し、顧客ニーズに応える金庫経営確立に取り組みます。</li> </ul>

「かしん地域密着型金融推進計画」の具体的取組み事項

項 目	取組方針及び目標	具体的な取組み
4. 協同組織金融機関としての取組み		
(1) 目利き能力の向上、人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業分析力・目利き力の向上を図ることで、与信判断力、融資セールス力、経営支援、事業再生が遂行できる人材の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部審査担当者の審査能力、営業店の審査能力の強化及び営業担当者の目利き能力向上を図ります。</li> <li>・業界団体である全国信用金庫協会及び南九州信用金庫協会の主催する集合研修への派遣します。</li> <li>・外部コンサルタントを招いた職員研修、事例研究、土曜勉強会等を実施します。</li> <li>・中小企業再生支援協議会を利用することによるノウハウの取得に取り組みます。</li> </ul>
(2) 情報開示の充実に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開示項目や開示方法について、業界団体の検討事項を踏まえ、情報開示の充実に努めるものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他金融機関の先進的な取組みを参考にしつつ、ディスクロージャー誌、半期ディスクロージャー誌の内容充実に取り組みます。</li> <li>・ディスクロージャー誌、ホームページに地域密着型金融推進計画の方針及び進捗状況の掲載を行います。</li> </ul>
(3) 総代会の機能向上に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代会の機能強化のため、業界団体の検討事項を踏まえ、信用金庫や総代会の仕組み及び総代の位置付け等を地域金融機関としてさらに明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代会に一般会員の意見を反映させる仕組みなど総代会の機能強化に向けて取り組みます。</li> <li>・ディスクロージャーにて、総代会機能、総代選任方法、決議事項等の情報開示を行います。</li> </ul>
(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス態勢の整備を図り、不祥事件及び規程・事務取扱要領違反の発生防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事件及び規程・事務取扱要領違反の発生防止に向けた内部管理態勢の整備に取り組みます。</li> <li>・コンプライアンスチェックリスト及び日常事務チェックリストの内容改正とモニタリングの強化を行います。</li> <li>・コンプライアンス体制の整備と組織の機能強化に取り組みます。</li> <li>・コンプライアンス相談窓口への通報等利用拡大を図ります。</li> </ul>
(5) 信用リスク管理態勢および統合的リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合的リスク管理方針に基づき、信用リスクの計量化を図り、自己資本管理及び統合的リスク管理における適切なリスク資本の配賦を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用格付の精度向上を図り、格付区分毎のデフォルト率算出に取り組みます。</li> <li>・モンテカルロ法において試行的に信用リスクの計量化に取り組みます。</li> <li>・信用リスクの測定及び検証に取り組みます。</li> <li>・統合的リスク管理、自己資本管理、オペリスク管理規程の制定を行います。</li> <li>・自己資本管理、統合的リスク管理における全体リスク量の把握と許容資本の配賦の決定に取り組みます。</li> </ul>
(6) 市場リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場リスクの計量化を図り、より一層のリスク管理の高度化を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限度枠の設定を含めた余裕資金運用規程関連の見直しを行います。</li> <li>・金利リスクにおけるアウトライヤー比率の定期報告を行います。</li> <li>・VaRによる市場リスク計測方法の決定及びリスク量把握に取り組みます。</li> <li>・仕組債のリスク管理報告を行います。</li> </ul>